

R P P Cメール

リサイクルポート推進協議会

第 5 3 5 号（平成 2 6 年 7 月 2 日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》 今週の報道発表はございません。

■ 《RPPC 事務局からのお知らせ》

1. 次回汚染土壌事業化 P T 開催日程について
2. 循環資源利用促進部会開催日程について

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 室蘭港のリサイクルポートの動き
2. 八代港外港地区航路の増深・拡幅を重点化
3. 釧路港西港区で土砂処分場護岸整備

=====

《事務局からのお知らせ》

1. 次回汚染土壌事業化 P T は 7 / 1 7（木） 1 5 : 3 0 ~ 1 7 : 3 0 開催予定です。
（詳細については後日連絡します）
2. 平成 2 6 年度 循環資源利用促進部会の開催について現在日程調整中です。

【事務局】

1. 室蘭港のリサイクルポートの動き

室蘭市のまとめによると室蘭港を通じた平成 25 年のリサイクル資源の取扱量は約 13 万 t で、ここ 3 年いずれも増加傾向にある。室蘭港で取り扱っている主な再生資源としては、廃プラ石炭灰、鉄クズ、建設発生土、ペーパースラッジなど多品種。鉄クズは海外に輸出しているほか、その他のリサイクル材はセメント原材料としての利用や、廃プラは高炉原料として活用している。

室蘭港で取り扱っている再生資源の特徴は背後に立地している新日鐵住金(株)室蘭製鐵所と連携した廃プラスチックの有効活用。北海道内では毎年約 5 万 4000 t 程度の廃プラが発生しており、このうち約 4 割に相当する 2 万 t 強を同社で受入れて有効利用している。廃プラを固形化し、コークスなどと一緒に製鐵過程での還元材として有効利用している。また新日鐵住金では、コークス炉で発生する油化物を同社の広畑製鐵所（姫路市）に海上輸送して、再生資源の有効活用に繋げている。

【港湾空港タイムス】

2. 八代港外港地区航路の増深・拡幅を重点化

九州地方整備局熊本港湾・空港整備事務所は、八代港外港地区で供用開始しているマイナス14m国際物流ターミナルの機能強化に向け、水深12mの暫定水深になっている外港地区航路の増深・拡幅工事の整備を重点化している。

今年4月と6月上旬に、それぞれ約2万5000立方m規模の第1次、2次の浚渫工事を契約したのにつき、6月26日にはWTO対応としてNETで約9万3000立方m規模の工事入札を行った。同整備事務所では来年度以降も航路浚渫事業を継続して、大型船入港にあたっての安全航行や効率化に対応していく方針。

八代港外港地区では25年3月に水深14m岸壁と泊地が完成し、5万5千トン級のバルク船の入港が可能になっている。

【港湾空港タイムス】

.....

3. 釧路港西港区で土砂処分場護岸整備

北海道開発局釧路開発建設部は、釧路港の26年度事業として西港区の土砂処分場護岸整備を進める。

土砂処分場は新西防波堤の脇に整備し、護岸を南側と東側に設置。北側は既存陸地、西側は新西防波堤が護岸がわりになる。

埋立面積は約19ha、埋立容量は約117立方m。護岸構造は捨石式緩傾斜堤を中心に、一部は揚土を行うため重力式を取り入れている。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：細貝 隆司 五洋建設（株）

堀江 良彰 東京都

加賀谷 聡一 (株)酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、大矢、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####